

## 2018 年度計算機利用共同研究採択一覧

\* 所属機関・職名は申請時のとおり

研究代表者	所属機関*	職名*	所内担当教員	研究課題
坪内 健	東京工業大学	東工大特別研究員	徳丸宗利	太陽圏境界領域におけるピックアップイオンダイナミクス
深沢圭一郎	京都大学	准教授	三好由純	木星磁気圏衛星観測に対するパラメータサーベイ型シミュレーション
梅田隆行	名古屋大学	講師	梅田隆行	プラズマ境界層における流体的不安定性のブラソフシミュレーション
林 啓志	名古屋大学、中国科学院国家空間科学研究中心	研究協力員	徳丸宗利	IPS解析データに基づいた太陽圏長期変動再現MHDモデル
松清修一	九州大学	准教授	梅田隆行	準平行衝撃波のマルチスケール構造と粒子加速
藤本桂三	北京航空航天大学	副教授	草野完也	無衝突磁気リコネクションにおける異常抵抗発生機構の解明
関 華奈子	東京大学	教授	今田晋亮	太陽風・太陽放射条件が火星周辺宇宙環境および大気散逸機構に与える影響の研究
齊藤慎司	名古屋大学	特任准教授	梅田隆行	磁気圏シース領域での電子運動論を含んだミラーモード不安定性の研究
近藤光志	愛媛大学	講師	梅田隆行	非対称反平行磁気リコネクションの磁気流体計算
堺正太郎	東京大学	特任研究員	今田晋亮	固有磁場強度の変遷が惑星大気流出機構へ与える影響に関する研究
横山竜宏	情報通信研究機構	主任研究員	大塚雄一	赤道プラズマバブルの生成機構解明と発生予測に向けた研究
若月泰孝	茨城大学	准教授	坪木和久	雲解像モデルシミュレーションによる豪雨の予測と検証

研究代表者	所属機関*	職名*	所内担当教員	研究課題
塩田大幸	情報通信研究機構	研究員	草野完也	内部太陽圏磁気流体モデルを用いた南向き惑星間空間磁場予測手法の開発
井上 諭	名古屋大学	特任助教	草野完也	解適合格子・多層格子電磁流体力学計算による太陽フレア-CMEダイナミクスの研究
馬場賢治	酪農学園大学	准教授	坪木和久	アジアダストホットスポット域からのエアロゾル輸送に関する研究
相木秀則	名古屋大学	准教授	相木秀則	千年スケールの気候変動における海洋モード水の役割
寺田直樹	東北大学	准教授	梅田隆行	火星熱圏における大気重力波の伝搬・飽和・散逸過程のDSMCシミュレーション